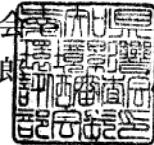


平成30年11月1日

愛知県環境影響評価審査会  
会長 松尾直規様

愛知県環境影響評価審査会  
尾張北部ごみ処理施設部  
部会長 成瀬 一 郎



尾張都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）尾張北部環境  
組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書  
について（報告）

平成30年10月4日に審査を付託されたこのことについては、別添のとおりです。

## 尾張都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）尾張北部環境組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書に関する部会報告

### はじめに

尾張都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）尾張北部環境組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

都市計画決定権者は、以下の事項について十分に検討した上で、事業計画を策定するとともに、環境影響評価方法書以降の図書を作成する必要がある。

### 1 全般的事項

- (1) 事業計画の策定に当たっては、環境への負荷をできる限り回避、低減するよう努めること。
- (2) 木曽川の兩岸に点在する樹林地のうち比較的大きなシイ・カシ二次林を事業実施想定区域に選定した経緯について、その内容を分かりやすく示すこと。

### 2 大気質、騒音、振動及び悪臭

- (1) 事業実施想定区域が木曽川沿いに位置しているため特異な風向・風速を有すると考えられること、煙突の高さが航空法の制限を受けるためダウンドラフト等により塩化水素等の短期濃度が高くなることが懸念されることから、大気質について、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。
- (2) 既存の2施設が1施設に集約され、ごみ収集車等の交通量が増加することが想定されることから、ごみ収集車等の走行ルートに係る大気質、騒音及び振動の道路沿道への影響に配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。
- (3) 事業実施想定区域の近隣に住居が存在することから、騒音、振動及び悪臭の影響に配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。

### 3 動物・植物・生態系

事業実施想定区域は木曾川沿いに位置しており、主にシイ・カシ二次林で構成されていることから、動物、植物及び生態系の影響に配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。

### 4 景観

事業実施想定区域の近隣に住居が存在することから、煙突の位置だけでなく、施設の形状及び色彩にも配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。

### 5 温室効果ガス等

廃棄物発電設備の導入、焼却に伴う廃熱の有効利用など、温室効果ガスの低減に配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。

### 6 その他

住民等の意見に配慮するとともに、分かりやすい図書となるよう努めること。

## 検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
平成30年10月4日	審 査 会	知事からの諮問 配慮書の内容の検討 関係市町長意見の検討 部会の設置及び付託
平成30年10月18日	部 会	配慮書の内容の検討 岐阜県知事意見等の検討 部会報告の検討

## 愛知県環境影響評価審査会尾張北部ごみ処理施設部会構成員

井上 隆信	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授
酒巻 史郎	名城大学理工学部教授
○佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
武田 美恵	愛知工業大学工学部准教授
谷脇 弘茂	藤田医科大学医学部講師
中野 正樹	名古屋大学大学院工学研究科教授
中山 恵子	中京大学経済学部教授
◎成瀬 一郎	名古屋大学未来材料・システム研究所教授
西田 佐知子	名古屋大学博物館准教授
葉山 嘉一	元日本大学生物資源科学部准教授
檀田 珠実	名古屋芸術大学芸術学部教授

◎部会長 ○部会長代理

(敬称略、五十音順)